

弓削高 P T A 通信

「令和三年度を
振り返って」



PTA会長

村上 貴樹

今年度のPTA会長を務めさせていただき、一年の任務が終わろうとしています。先方、PTA役員の皆様、保護者の皆様、PTA活動へのご協力ありがとうございました。

さて、今年度もコロナウイルスが学校生活に様々な影響を与えました。運動会や文化祭などの学校行事は、制限はありますが無事に行なわれます。

ました。このような大変な状況の中で開催していただき、先生方に感謝致します。コロナ禍の生活になり、高校生活の一年一年は本当に貴重なのだと再認識させられました。またPTAにおいても、今年度は感染拡大防止のため活動を縮小したものととなりました。役員会は書面での開催となり、学校行事へのPTAでの参加は見送りとなりました。参加を楽しみにされていた保護者の皆様には、ご期待に添えない形となってしまいました。そのようなこともあり、PTA活動を行うには難しい一年でした。ですがコロナ禍の生活にも慣れてきた一年でもあると思います。その経験を活かし、来年度はPTAの活動の幅をできる範囲で少しずつ増やしていける事を願います。

最後になりましたが、来年度も弓削高の生徒達が有意義な学校生活を送れるよう、PTAとしてもサポートしていきたいと思っておりますので、弓削高関係者の皆様、ご協力のほどよろしくお願い致します。



運動会 綱引き入場

今年度も残りわずかとなりましたが、村上会長のもとで副会長としてPTA活動に携わり、様々な経験をさせていただきました。

令和三年度もコロナ禍の中、行事や役員会など例年通り行うことはできませんでしたが、運動会では真剣に準備や三密にならないようソーシャルディスタンス等検討をされ中止しましたが、無事開催することができたと聞いております。

「活動報告」

PTA副会長

高井 栄作



運動会新競技 学年対抗障害物リレー

文化祭については、コロナ禍の文化祭ということで出店による飲食もバザーも中止となりPTA活動としては、とても残念でした。

副会長として、PTAの運営に貢献できたかどうかかわかりませんが、子供達、先生方、保護者の皆さんと関わる事で良い経験となったと思います。会員の皆様には、今後とも各活動や懇親会へ気軽に参加していただき弓削高等学校を盛り上げていきたいと思います。

最後になりましたが、今後PTA活動についてのご理解ご協力をお願いし活動報告とさせていただきます。



文化祭 3年生出し物

「一年間を振り返って」 PTA副会長

岩越 直子

昨年度に引き続き、コロナウイルス感染防止に努めながらの新年度スタートとなり、この一年どうなるのだろうか、不安でいっぱいでしたが、皆様の御協力のおかげで無事にPTAの役員を務めることができました。

厳しい状況下ではありましたが、子どもたちは下を向くことなく工夫を凝らし、今できることを考え、皆で協力し、笑顔で運動会や文化祭等の行事をやりきったこと、大変嬉しく思います。

一日も早くコロナウイルスが終息して、子どもたちの元気な姿とともに、PTA活動が例年通りできることを願っております。

これからも弓削高校のために、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。一年間、ありがとうございました。

「一年間を振り返って」 PTA副会長

西本 良美

一年間、何も出来ずあっという間に過ぎてしまった感じがします。昨年度に引き続きコロナ禍の中ではありましたが、できることを最大限に取

り組めたPTA活動だったと思います。

今年度の運動会は残念ながら無観客ということで保護者の方々も悔しい思いをしたことでしょうか。一生懸命に取り組んだ子ども達や先生方にとっても気持ちは同じだったと思います。制限のある中でも無事に開催できたことに安堵しました。文化祭は実際に子ども達の頑張りを目にするのができ感動しました。

先生方、保護者の方々、その他の関係者の皆様のご協力に感謝します。

新型コロナウイルス感染症が一刻も早く終息し、例年通りの学校行事が行えることを願っています。一年間ありがとうございました。

「日々成長する
弓削高校」
教頭 渡邊 一郎

今年度一年間、弓削高校の活動に対する御支援と御協力をいただきましたことに対し、保護者の皆様、地域の方々、厚くお礼申し上げます。昨年度に引き続き今年度も、新型コロナウイルス感染症対策のため、大変御不便をお掛けしました。特に運動会にお掛けしました。特に運動会につきましては無観客開催となり、三年生の保護者の皆様にとりましては、最後の運動会でありながら直接応援することができず、歯がゆい思いをさせてしまったことと思

います。この場をお借りして、お詫び申し上げます。

また、文化祭につきまして、保護者の皆様には御覧いただきましたが、午前中開催で、食品販売等は控えることといたしましたので、バザー活動等ができませんでした。楽しみにされていた皆様の御期待に添えず、申し訳ない限りです。今後、一刻も早く新型コロナウイルス感染症が収束し、従来どおりの形で学校行事が行えることを願っております。

さて、今年度の大きなトピックスとして、愛媛県の全ての

学校の生徒に、一人一台端末が支給されたことが挙げられます。ICT機器の活用は、新学習指導要領に基づいた児童生徒の資質・能力の育成に向けて、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に進められると期待されています。今までのような生徒全員に画一的に展開する授業ではなく、一人一人の理解度や進

度に応じた課題を与えること「個別最適な学び」を、また、グループやクラスでの発表や話し合い、オンラインで遠く離れた人との協働作業等をおして「協働的な学び」を進めることができます。

島親制度とは、下宿している生徒たちの生活面のサポートをするために、今年度より発足した制度です。現在は十人の地域の方が参加して下さっております。島親同士はLINEでつながっております。そこで情報交換をしています。また、学期ごとに島親が学校に集まり、それぞれがどういったサポートをしたのか、どういったサポートが効果的だったのかなどを話しあい、今後に活かすようにしています。

「島親について」
ゆめしま魅力課長 越智 雅之

充実させて、地域から信頼され、地域に貢献できる学校づくりをしていきたいと考えております。これからも、保護者の皆様や地域の方々の御理解と御協力が私たちの大きな力となりますので、応援の程よろしくお願いいたします。

今後、本紙第四面に掲載しております学校評価アンケートの結果等を踏まえ、今年度取り組んできた活動を更に

型コロナウイルス感染症が収束し、従来どおりの形で学校行事が行えることを願っております。

今後、本紙第四面に掲載しております学校評価アンケートの結果等を踏まえ、今年度取り組んできた活動を更に



文化祭 黒板アート

「ふれあい学習会について」 人権・同和教育課長 田淵 愛

十二月九日に、上島町教育委員会主催「地域ふれあい学習会」を実施していただきました。「差別をなくする最終ランナー」というテーマで、八木春樹指導主事による講演やワークシヨップを通じて、同和問題について学びました。

世間の声として、差別を教えるから差別がなくなるのではないのではないかとという考えから「寝た子を起すな」という言葉を聞くことがあります。しかし、学習会を通して生徒たちは、正しく知り正しい行動を取ることで、この長く続く差別をなくすためにも重要なことなのだと思惑を感じました。学習会の後、「家族と人権について話したい」「何事にも正しい知識を持つことを大切にしようと思う。自分たちは気づかないうちにしてしまっている差別がないのかなどを見直して改善したい。」といった感想が寄せられました。「誰か」のことでなく自分の問題として捉え差別をなくす最終ランナーとなれるようこれからも学習を続けていきます。

上島町教育委員会の皆さま

ま、八木春樹先生、ありがとうございました。



1年生 「しごと創造学」

《総合的な探究の時間》 1年生「しごと創造学」 〈概要〉

一年次の総合的な探究の時間では、しごと創造学と題して、仕事に関することを様々な視点から考えることを目的として実施しています。できる限りグループワークを中心として自分自身で考え、発表するという機会を取り入れた授業となっています。

〈感想〉西本 菜々

私は総合的な探究の時間を通して、将来について想像したり、仕事について調べることが多くなりました。授業では文化祭の展示物として仕事と職業の違いについてレポートをまとめたり、グループワークでは、自分と違う考え方を

2年生「地域仕事学」 〈概要〉

二年次の総合的な探究の時間では、上島町の課題を発見し、その課題を解決するために「しごと」を創ることをテーマとして活動しています。三々四名のグループに分かれ、事業計画書を作成し、実現に向けて取り組んでいます。

〈感想〉檜垣 花歩

二年生の総合的な探究の時間では、地域の課題を解決するための「しごと創り」として、事業計画書の作成を行いました。私たちのグループでは、「観光客を増やすための宿泊施設を作る」というテーマで活動をしています。グループで話し合いをしながら、事業計画書の作成を行うのは難しいですが、みんな楽しんで取り組んでいます。初めての経験ですが、グループのみ

を聞くことで、自分一人の価値観にとらわれず、様々な考え方ができるようになりました。最近、SDGsについて学ぶ機会があり、多くの企業のSDGsに対する取組を学びました。私の親が勤めている会社でもSDGsについて取り組んでいることを知り、もっと詳しく学び、将来にも役に立てたいと思います。

3年生「キャリア創造学」 〈概要〉



2年生 「地域仕事学」

三年次のキャリア創造学では、一・二年次の総合的な探究の時間で学んだことと志望理由の関係について知り、五つの観点「きっかけの経緯」「気づき」「明確なテーマ・学びたいこと」「志望先である理由」「将来の夢・志」から志望理由書を作成しました。その志望理由書を他者にプレゼンしたりグラフィックレコーディングの技術でグラフィック化したりし、他者からフィードバックを得ることでそれぞれが納得できる志望理由書を作成することができました。

〈感想〉横山 絢子

今年度の総合的な探究の時間は、志望理由書をグラフィックレコーディングにまとめました。五つの観点から見ていき、スター法などを使って考えました。初めはきっかけや気づきから考え、徐々に視野を広げ将来の夢や目標について考えました。作ったポスターは文化祭でも展示されました。一・二年生の時に学んだ「しごと創り学」の知識を生かすこともできたので、二年間のまとめになったと思います。

一、二年生のみなさんは三年生になって志望理由書が必要になると思うので頑張ってください。

三月行事予定

三月一日(火) 卒業証書授与式

三月三日(木) 入学者選抜学力検査

三月十七日(木) 第三学期終業式

三月二十八日(月) 離任式

令和3年度第2学期学校評価アンケート（三者比較）

(令和3年12月実施)

分類	評価項目	評価値					
		生徒		保護者		教職員	
学校教育全般	① 学校の教育方針や重点目標の伝達と理解	76		94	◎	75	
	② 情報発信の工夫（ホームページ・「弓削高だより」など）	65		95	◎	92	◎
	③ 学校教育の推進と学校生活への充実感	68		96	◎	75	
学習指導教科指導	④ 丁寧で分かりやすい授業の実践	76		91	◎	92	◎
	⑤ 生徒の能力を伸ばすための個別指導の導入と理解の深化	81	◎	93	◎	91	◎
	⑥ 学習形態の工夫や習熟度別・類型別学級編成による進路希望に応じた指導	80	◎	97	◎	75	
	⑦ 積極的なICTの活用、話し合いの場の設定など、主体的・対話的な学びの実践	75		94	◎	92	◎
	⑧ 適切な課題設定による学習習慣の定着	57	▲	66		75	
進路指導	⑨ 進路決定のための計画的で適切な進路情報の提供	69		81	◎	67	
	⑩ 進路選択に役立つガイダンス機能の充実	70		80	◎	75	
	⑪ 個別指導・面接指導の実施による進路相談の充実	77		90	◎	84	◎
生徒指導	⑫ 命を大切にする心や社会のルールを守る態度の育成	76		98	◎	75	
	⑬ あいさつ・言葉遣いの指導の徹底	78		99	◎	84	◎
	⑭ 生徒同士及び生徒・教師間の豊かな人間関係の育成	73		91	◎	91	◎
健康安全環境指導	⑮ 健康で安全な生活に資する施設・設備の整備	64		92	◎	83	◎
	⑯ 心身の健康に問題が生じたときのケア体制の充実	67		89	◎	83	◎
	⑰ 事故防止・防災・防犯に対する適切な指導	79		94	◎	75	
人権同和教育教育相談	⑱ あらゆる教育活動における人権・同和教育の視点に立った教育の推進	75		89	◎	75	
	⑲ 生徒が気軽に相談できる教育相談体制の整備	66		87	◎	84	◎
特別活動	⑳ 地域に貢献できる生徒の育成につながる奉仕活動の充実	65		97	◎	84	◎
	㉑ 生徒と教師が一体となった部活動の推進	77		96	◎	92	◎
	㉒ 生徒と教師が一体となった生徒会活動・学校行事の推進	76		96	◎	91	◎
総平均値		72		91	◎	82	◎

※ 評価値は、肯定割合（できている、又は、どちらかと言えばそう思うと回答した割合）を示す。

※ ◎－80以上、▲－60未満を示す。